

まい そなえ、まいさん ハム助 加藤 さん 大場 さん 與 さん

第6回 備える

携帯トイレ 1人35回分用意を

名古屋市港防災センター長の犬場玲子さんと、スタッフの眞後朱美さんに、災害用トイレの使い方を聞きました。

名古屋市港防災センターで聞きました

まい 携帯トイレは、まず便座を上げて、大きめの袋をかき、テープで固定します。次に中身が見えにくい黒色の袋をかき、真空状態にします。

加 災害用のトイレを紹介する犬場玲子さんと眞後朱美さん。黒色の箱は携帯式便座。黄色の箱はマンホールトイレとして使うことができます。

まい 携帯トイレは、まず便座を上げて、大きめの袋をかき、テープで固定します。次に中身が見えにくい黒色の袋をかき、真空状態にします。

加 災害用のトイレを紹介する犬場玲子さんと眞後朱美さん。黒色の箱は携帯式便座。黄色の箱はマンホールトイレとして使うことができます。

まい 携帯トイレは、まず便座を上げて、大きめの袋をかき、テープで固定します。次に中身が見えにくい黒色の袋をかき、真空状態にします。

加 災害用のトイレを紹介する犬場玲子さんと眞後朱美さん。黒色の箱は携帯式便座。黄色の箱はマンホールトイレとして使うことができます。

覚えておこう「災害用」の使い方



まい 日本大震災では、三日以内に仮設トイレを避難所に設置する必要がある。

加 器に取り付け、便座を取り出し、便座を吸水シートで固定し、トイレや、便座ごと手軽に持ち運べる携帯トイレがあります。屋外用では水道に直結するマンホールトイレや、工事現場で見られる仮設トイレがあります。

まい 二〇一一年の東日本大震災では、三日以内に仮設トイレを避難所に設置する必要がある。

加 器に取り付け、便座を取り出し、便座を吸水シートで固定し、トイレや、便座ごと手軽に持ち運べる携帯トイレがあります。屋外用では水道に直結するマンホールトイレや、工事現場で見られる仮設トイレがあります。

「ハム助、災害時に困ることって何が思い浮かぶ?」「うーん、ヒマワリの種はリュックに入れてるし...」「水道が止まると水洗トイレが使えなくなるよね」「それは大変だハム」「どんな問題があるのか。早速、専門家に聞いてみよう」

日本トイレ研究所 加藤代表理事



まい 災害時は、トイレが被災すると、命に関わる三つの問題が起きます。

① 不衛生になる ② 排せつを我慢 ③ イライラする

まい 災害時は、トイレが被災すると、命に関わる三つの問題が起きます。

① 不衛生になる ② 排せつを我慢 ③ イライラする

まい 災害時は、トイレが被災すると、命に関わる三つの問題が起きます。

① 不衛生になる ② 排せつを我慢 ③ イライラする

まい 災害時は、トイレが被災すると、命に関わる三つの問題が起きます。

① 不衛生になる ② 排せつを我慢 ③ イライラする

中日プラスに取材動画

今回は来月6日予定

そなえ、まいさんとハム助は名古屋市のNPO法人「防災自助普及委員会」が企画、名古屋工科大学専門部が制作した防災キャラクター。取材体験記は随時掲載します。まいさんが名古屋市港防災センターで取材した動画向けインターネットサービス「中日新聞プラス」(登録無料、QRコード)で見ることができます。次回の「備える」は3月6日の予定です。文・横井武昭



加 昭和三十九年二月の昭和東南海地震、三重県尾鷲市も津波に襲われ、六十五人が犠牲になった。中内の買田町では、教訓を生かす取り組みが、いまも続いている。地震学の専門家「防災の最先端」が、町を歩いた。

まい 買田町の高台にある東禅寺。地震当時、人々が避難した境内には、地の様子を二十一人を犠牲にした「遭難の陣」が立つ。山門の看板には「海の底がジャンジャン鳴る」「地震雲の発生」など、地震の前兆を記した言い伝えが残る。

加 祖父を亡くした買田町長の本陣(本陣)さんは、明治時代の地震で津波が来たため、のんびり構えていた人でした。位牌を取り、濡った衣、家から動かし戻して犠牲になったと話す。名王屋天の巻谷誠教授は「ここは六つの津波に襲われた。入り江が複雑な地形になって波が高くなる」と解説した。

まい 「ここは海抜約4m」。町内には至る所に住民手作りのこんな表示がある。道路の上は夜も光を当てて逃げられるよう、南海トラフ地震を想定される津波より高い海抜に防災ダイヤライト(LED)ライトを設置。電柱には、昭和東南海地震などの津波高を示した標識もある。買田町立買田小学校では、校舎三階から海抜十三メートルに橋を架かしている。津波時に屋根から高台へ逃げるため、避難訓練も打ち行っている。

まい 巻谷教授は「地元の力での夫が随所に見られる」と話す。町内の高齢化が課題だ。だが、巻谷教授は「防災の担い手が不足する。子どもがいなくなる世代に経験が伝わらず、地域で積んでいってほしい」と話した。

被災教訓「防災の最先端」

